

令和3年度学校自己評価システムシート (県立大宮商業高等学校 定時制課程)

目指す学校像	地域とともに未来を切り拓く、心豊かでたくましい生徒を育成する
--------	--------------------------------

重点目標	1 授業改善により、生徒の主体性を育み、学習習慣の確立と学力を定着させる 2 キャリア教育の充実により、生徒の進路意識を高め、進路実現を支援する 3 地域・保護者・外部団体との連携強化と教育活動の効果的な情報発信により、愛され信頼される学校をつくる 4 コミュニケーション能力の育成により、チャレンジ精神に溢れたたくましい人材をつくる
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<現状> ○少人数のため、対話的な授業展開により、学びやすい環境にある。 ○主体的に学ぶことができる生徒は少ない。 <課題> ○「主体的・対話的で深い学び」となる授業実践の工夫が必要である。 ○義務教育段階で不登校を経験している生徒が多いため、基礎学力の定着、検定試験合格率向上の具体策が必要である。	○生徒に「主体的に学ぶ方法」を学習させ、基礎学力を定着させる。 ○各種検定試験への参加者数及び合格者数を増加させる。	①生徒の到達度に応じた学習支援が行えるよう、教職員全体で生徒の情報共有し、基礎学力を定着させる。 ②日々の授業において、BYODを含めたICTを積極的に活用し、生徒が主体的に学ぶ機会を設定する。 ③実施される主な検定試験の一部を一覧にして掲示し、各種検定試験の積極的な受験を促す。	①各学期における欠点保有率が昨年度に比べ減少したか。(各学期10%以下であったか。) ②アンケートにおける授業満足度が年間を通して90%以上であったか。 ③検定試験の受験者や合格者が昨年度と比較して増加したか。			
2	<現状> ○主体的に進路活動を行う生徒とそうでない生徒の差がある。 ○進路実績では未定着者が減少し、昨年度は進路決定率が100%であった。 <課題> ○低学年の生徒の進路意識が低い。 ○引き続き、高い進路決定率を維持する。	○定期的に進路活動を行わせ、低学年から進路意識を向上させる。 ○自主的、自発的に進路活動を行わせる。	①定期的に進路だよりを発行する。 ②4年間を見通した進路LHRや、キャリアパスポートの活用により、生徒の進路意識を高め、自主的、自発的な進路活動につなげる。 ③適性検査等の結果を踏まえた三者面談の実施、就職支援アドバイザー等の外部の教育力を有効活用する。	①年間5回以上進路だよりを発行したか。 ②学年別の進路LHR、キャリアパスポートの活用を年間12回以上実施したか。 ③進路決定率が100%であるか。			
3	<現状> ○ホームページのアクセス数が伸びている。 ○学校見学の問い合わせや参加者数の増減はない。 <課題> ○本校志願者数を確保する必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、新しい形での行事の開催、保護者や地域との連携を模索する必要がある。	○ホームページの更新頻度を増やし、アクセス数を更に伸ばす。 ○志願者数を増加させる。 ○保護者や地域と連携できる機会を増やす。	①各関係分掌を中心に日頃の取組をHPに掲載し、更新頻度、アクセス数を昨年度より増加させる。 ②学校案内、生徒会だよりを活用し、中学生に対して本校の取組をPRする。 ③保護者による授業参観や行事参観を中心に、保護者が来校しやすい環境を整える。	①ホームページの更新数、アクセス数が昨年度と比べて増加したか。 ②学校見学希望者が昨年度より増加したか。 ③志願者が昨年度より増加したか。 ④保護者の来校機会を年間5回以上設定したか。			
4	<現状> ○生徒は、概ね落ち着いた学校生活を送っている。 ○立哨指導、巡回指導で生徒とのコミュニケーションを深めている。 ○長期欠席者は少ない。 <課題> ○生徒が抱える悩みが多様化しており、生徒が相談しやすい体制を確立する必要がある。	○生徒への積極的な声がけや信頼関係づくりを行う。 ○安心・安全な学校生活を送れる環境を作り、不登校(長期欠席)を未然に防止する。	①日々の立哨指導や巡回指導を継続し、生徒理解を深める。 ②新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、登校前の健康観察入力、換気、消毒、黙食を徹底する。 ③不安を抱える生徒の情報を共有し、必要に応じて外部機関とも連携をする。	①転学者数及び退学者数が昨年度より減少したか。 ②登校前の健康観察入力状況が90%以上であるか。 ③長期欠席者数が昨年度より減少したか。			

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日	令 和 年 月 日
学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等	